

# 航友会だより

発行／中日本航空専門学校航友会事務局

〒501-3924 岐阜県関市追分1577 中日本航空専門学校内 ☎(0575)24-2521 FAX(0575)22-9816

平成12年度

代議員会開催	1
会長あいさつ	2
沖縄支部だより	2
同窓会・親睦会	3
創立30周年行事	4
同窓会案内	4
編集後記	4



平成12年10月21日(土)、愛知県犬山市の「犬山館」において、平成12年度(12年10月/13年9月)の定例代議員会が開催され、22名中14名の代議員が参加し、活発な討議、意見交換が行われました。

●平成11年度事業・会計報告  
事業報告では、支部や地区単位での航友会活動の近況報告が行われました。沖縄支部は、役員を刷新し、新体制での活動と支部会員の増加が報告されました。

## 平成12年度代議員会開催

また、八尾空港勤務の卒業生の主催による2回目の親睦会が開催され、関西地区の航友会活動の基盤作りが行われています。

●平成12年度事業・予算計画  
今年度の事業・予算では大阪で初めて開催される同窓会と中日本航空専門学校30周年記念事業に対する300万円の支援があります。

同窓会は、関西地区の活動に合わせて企画されたもので、詳細は3頁をご覧ください。

### 平成11年度 会計決算報告

収入の部	
項目	金額(円)
前年度繰越し金	19,105,868
会費 (376名)	1,880,000
名簿売上 (1名)	3,000
預金利息	18,124
合計	21,006,992
支出の部	
総会名簿・同期生名簿作成費	1,997,330
会報作成費 (第10号)	499,680
会報作成費 (第11号)	587,706
支部等援助費 (ラグビー部OB、沖縄)	350,600
会議費 (定例役員会、代議員会)	194,990
事業運営費 (監査依頼、慰労会補助等)	507,790
同窓会開催準備費 (大阪)	0
卒業記念品費 (H11.3卒学生分)	302,400
通信費 (役員会、代議員会郵送代)	2,660
雑費 (ファイル、他)	7,828
特別費	0
予備費	0
小計	4,450,984
次年度繰越し金	16,556,008
合計	21,006,992

30周年記念事業への支援は航空機購入・コンピュータの購入やグラウンドの建設など、億単位の記念事業の一助として支援することが決定されました。

●その他  
航友会奨学制度についての審議がありました。

これは、経済的理由から学業の継続に支障のある学生に対して、航友会から援助の手を差し伸べてはどうかとの発議から検討されたものです。

しかしながら、代議員からは賛否両論様々な意見が出され、再度次年度の代議員会で審議することとなりました。

## 21世紀の航友会



航友会会長 上村 信雄

21世紀になりまして、航友会会員の皆様はますますご健勝のことと思います。昨年は、母校の創立30周年を迎え、愛知県犬山市にて学校主催の記念式典が盛大に行われました。

私も航友会代表として式典に参加させていただきましたが、ご来賓の方々の多くは企業のトップクラスの方々が列席されており、如何に多くの卒業生が各企業で活躍しているか再認識しました。

創立30周年を迎えられるのも、羽貝校長をはじめ教職員の皆様のご努力の賜物であり卒業生としてありがたく思います。

また、記念事業により学校の設備も一段と充実されましたので、是非一度母校の発展振りをご覧頂けたらと思います。

さて航友会活動報告として、昨年かねてから要望がありました関西での同窓会を11月に開催いたしました。

大阪梅田の阪急ホテルにて羽貝校長には来賓としてお忙しい中、御出席していただき、また沖繩支部からも多数参加していただき盛大に開催することができました。この項をお借りしませ

てお礼申し上げます。

会の中で関西支部設立の力強い発言

もあり大いに盛り上がりました。

現在同窓会会員は7000名を越え全国で活躍されています。本年3月にはエアポートサービス科の初の卒業生が航友会の会員となりました。今後ますます会員が増えることとなります。

関西の同窓会の中でも発言がありました。関西支部の設立は、大阪・八尾空港に勤務している卒業生の集まりが発端で、それに伊丹地区の卒業生が加わり、関西支部の設立に動いているものです。

これこそ航友会のあるべき姿ではないでしょうか。同期会の横のつながりも必要ですが、年齢を超えた縦の繋がりが自然発生的に出来てきて、支部としてまとまりつつあります。まことに心強い限りです。

やはり中日本航専で学んだという仲間意識、又、羽貝校長がいつも教えておられる「技術者である前によき人間たれ」の教えが生きているのではないのでしょうか。

今後、全国で関西支部設立の様に会社や地域でこのように横のつながりだけでなく縦のつながりが多くできることを期待します。

4月6日に平成13年度の入学式が行われましたが今年初めて海外留学生（中国および韓国）が入学されました。2年後には航友会の会員になる予定です。航友会も今後は国際色豊かなものになっていくのではないのでしょうか。

沖	繩	支	部
だ	よ	り	



沖繩支部長 宮城 善勝

航友会のみなさん こんにちは  
沖繩支部の宮城です。

沖繩支部も今期で3期目を迎えています。昨年9月の引き継ぎ式を持ちまして3期の新役員が活動を開始し、10月の航友会代議員会に支部から宮城、幹事の又吉、会計の杉田の3人（JTA社員）が出席し、予算・決算報告、前期の活動報告、今期の活動方針を報告し承認を頂きました。

また、11月に大阪にて開催された関西地区同窓会にも、上原副支部長（琉球エア・コミュニケーター）と幹事の池野（JAL航空機整備成田沖繩営業所）が出席しお祝いの挨拶を兼ね沖繩支部の近況報告を行いました。

今期活動の大きな柱は、第2回支部総会の開催と卒業生への就職関係のサポート及びこれから中日本航空専門学校へ入学を希望する学生への学校紹介です。

4月26日に沖繩地区担当の安藤幹事が専門学校入学説明会に来沖されましたが、早速、活動の一環として私、宮城がその説明会にオブザーバーとして参加しました。やはり郷土出身が卒業生として傍で相談を聞いていると、学生や父母の方も少しリラックスした様子で真剣に安藤幹事の説明に聞き入っ

ていました。安藤幹事は、これからのこのような活動は続けてほしいと話していました。

それから、入学説明会の後、いつもの様に沖繩支部の役員及び数人の会員が参加しての懇親会を開き、沖繩支部の活動状況や学校側の近況について語り明かし、楽しいひと時を過ごしました。添付の写真はその時のものです。

3期目の支部もスタートして既に7ヶ月が過ぎようとしていますが、最後に一番大きなイベントである沖繩支部総会を7月7日(土)に予定しています。5月に入り役員も準備に忙しくなりそうです。

今回の総会は、前期支部長の安藤間さんの希望でもあった、沖繩の夏の風物詩である砂浜でのビーチパーティーを総会の後に開きたいと思っています。支部会員だけでなく家族ぐるみで楽しめる懇親会にしたいと役員一同盛り上がっています。

昨年は第1回にも関わらず30数名の方が参加されましたが、今回は昨年よりも一人でも多くの方が参加して頂き、親睦を深めて頂ける事を希望しております。

ちなみに沖繩支部会員以外の皆さんの参加も歓迎いたします。以上

平成12年度 沖縄支部役員

支部長 宮城善勝(M14) 只志三子(M23) 珠子(コーユニット)  
 副支部長 上原 響(M23) ジェル航空機整備部  
 幹事 池野全司(M27) ジェル航空機整備部  
 又吉 高(M21) 只志三子(M23) 只志三子(M23)  
 会計 杉田崇光(M21) 只志三子(M23) 只志三子(M23)  
 会計監査 安座間尚人(M8) 只志三子(M23) 只志三子(M23)



沖縄支部役員と安座間幹事



関西地区初めての同窓会開催

航友会副会長 浅野 敏美

昨年の11月25日に初めて大阪地区の同窓会が梅田のホテルで開催され、約80名の同窓生が集まりました。関西地区では、以前から八尾空港において、同窓生の自主的な懇親会が開催されていましたが同窓会として開催されたのは初めてです。元々八尾空港では、会社間の連絡を密に業務を円滑に遂行していくための集まりを定期的に開催していましたが、この中に多数(約40名)の整備士が本校出身者であることから、同窓生として親睦を深めるために年一回の懇親会へと発展していきま

した。そして、八尾空港のみではなく、関西地区へと輪を広げた同窓会の開催の要望が多く、今回大阪での同窓会開催となりました。八尾、関空、大阪の各空港からの移動を考慮して、大阪の中心地である梅田のホテルに会場を設けることにしました。当日は上村航友会会長から、「関西地区の航友会組織を、今回の同窓会開催を契機に益々活性化を図って貰いたい。」と関西地区における今後の活躍を期待する挨拶と併し、来賓として出席して頂いた羽根校長からも、航友会に対する激励の挨拶を頂きました。その後、学校の近況報告と学校紹介ビデオが会場で放映され、古い卒業生は近代化した母校の姿に見入っていました。セレモニーの後の親睦会では、学校や会社から提供された景品の福引で会場は多に盛り上がり、それぞれの期生や地区、会社毎に賑やかな輪ができて、在校生時代の思い出を語り合っていました。

また、この同窓会を機会に他地区でも懇親会を開催したいとの声も上がり、今後の航友会活動の活性化を期待するものであります。こうして、盛会の内、関西地区初めての同窓会を終えました。



関西地区同窓会に参加した航友会会員



上村会長あいさつ

昨年末、大阪で開催された同窓会に出席した際に、伊丹空港勤務の出席者が少なかった為、浅野・岩本両先生、航友会会長の上村氏から「ぜひ伊丹でも八尾空港同様の親睦会を行って欲しい」との要望がありました。大阪空港にある新聞3社と兵庫県警航空隊の卒業生が合わせて11名いるので、ANK、全日空整備、神戸ヘリポートのジャパンロイヤルヘリに連絡して新年会の実現を目指し、調整不十分ながらも、第1回伊丹地区と銘打って1月22日開催で計画しました。

当日は、母校からは技能審査が近い為残念ながら出席していただきませんでした。古屋から航友会会長の上村氏、八尾空港から和田氏、齊藤氏が駆けつけて下さり、1期生から25期まで20名の整備士が集まり大盛況の中、次回は八尾との合同開催を約束して閉会しました。

第1回 羽田 満 伊丹地区親睦会開催

## 盛大に創立30周年行事



写真1 セスナ310



写真2 グランド全景



写真3 完成落成を記念してのスポーツ大会



写真4 実習場全景



平成12年11月17日、愛知県大山市の名鉄大山ホテルにて創立30周年記念式典が挙行され、航友会からは上村会長が招待出席しました。  
平成12年度事業計画にもありませんように航友会からは左記の記念事業に対し、300万円の支援が行われました。

- 1 新整備士制度に対応する航空機の購入 (写真1)
- 2 体育用グラウンドの整備 (写真2・写真3)
- 3 グランド・ハンドリング実習場の整備 (写真4)
- 4 コンピュータ教室の増設および図書室の蔵書の拡充

### 卒業生・同窓生 推薦制度

神野学園では、同窓生のご子息、ご令嬢に1名でも多く入学していただくため、昨年度「卒業生子女奨学制度」及び「同窓生推薦奨学制度」をスタートさせました。2000年度は、2名の方が同窓生推薦制度を利用し、入学されました。今年度もこれらの制度を大いに利用され、子女の方々が多数入学されることを心待ちにしております。

#### ▼卒業生推薦制度

本校卒業生のご子息、ご令嬢が神野学園の4校(中日本航空専門学校、中日本自動車短期大学、岐阜医療技術短期大学、東海福祉情報観光専門学校)に入学する場合。入学金全額免除

#### ▼同窓生推薦制度

本校の卒業生及び在学生在が、神野学園の4校への入学希望者を推薦する場合。入学金半額免除

この制度を利用される方は、「同窓生推薦書」を出願時に提出していただきますので、事前に広報室入試係までお申し出ください。

詳細につきましては、広報室入試係(フリーダイヤル0120-1252159)までお問い合わせください。

### 編集後記

母校の創立30周年と共に20世紀が過ぎ、航友会も21世紀を迎えました。今回、以前からの企画でした、航友会だより12号をカラーページで発行しました。

会員の皆さんには、好評いただけたいでしょうか。

会員相互の縦横の繋がりをサポートするメディアとしての充実のために、原稿・情報等を常時募集いたします。郵送・TEL・FAX・E-mailにてご連絡ください。

ご協力いただいた方には、図書券を呈呈しています。

#### 連絡先

会報委員 中村 島岡 石原 錦村

TEL 0675-24-2521

FAX 0575-22-9816

E-mail nakamura@can.ac.jp

最後になりましたが、12号発行に際して協力いただいた方々にお礼申し上げます。